

第5回

樂歌踊謡

Sing for Joy, Dance for Joy

日時：2025年2月2日(日)

第1部/10:30 開演 第2部/14:30 開演

場所：赤坂区民センター 区民ホール

主催：Association of Classical Japanese Arts
(日本伝統文化の会)

後援：文部科学省 / 東京都

【第一部】

一

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京
はじめての和楽器ワークショップ
独立行政法人国立市少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」体験の風をおこそう
子どもおこと体験プロジェクト
小野真由美作曲

桜爛漫 ～ 楽歌踊謡 ～

Aグループ

箏Ⅰ

糀谷侑梨愛(小四)
山口 初琉(小四)
佐藤さあや(小二)
倉石 晴香(小二)
高岡めいか(小二)
高橋くるみ(小二)
畑中 結葵(小二)

吉田 知加(小一)
五十嵐友理佳(六歳)
石黒 翠(六歳)
黒澤 秀子
藤村 美里
西川 陽子

箏Ⅱ

川島 妃葵(中一)
高橋 怜杏(小四)
岩田 真央(小二)
小谷 莉子(六歳)
十七絃
川島 妃杏(中二)

三絃Ⅰ

萩野 美咲(中二)
吉田 一仁(小六)
吉田 貴博(小四)
林 智也(小二)
佐藤あらた(六歳)
佐藤 有希
佐々木寿子

Bグループ

箏Ⅰ

安藤 葵彩(小四)
近藤 藍(小三)
寺澤 明里(小三)
林 玲花(小三)
豊田 晶良(小二)
風間 日和(小一)

小林 奏穂(小一)
近藤ひかり(小一)
澤田 彩生(小一)
山下 琴蓮(五歳)
徳田 美子

箏Ⅱ

川島 妃葵(中一)
市倉 裕理(小二)
水谷 茉那(小二)
十七絃
川島 妃杏(中二)

三絃Ⅰ

萩野 美咲(中二)
安藤 芙花(小四)
河合咲太郎(小四)
河村 初華(六歳)

Cグループ

箏Ⅰ

井上 美月(小六)
猪之良 葵(小五)
橋本 愛乃(小五)
須田 凜香(小四)
井上 千陽(小三)
西川 翔鈴(小三)

箏Ⅱ

吉田 遥(小三)
須田 帆香(小二)
菱沼 美羽(六歳)
アンドレイ
マンガラナンダ
川島 妃葵(中一)
多田 稀穂(小四)
堀田 新乃(小四)
中澤かえで(小三)
十七絃
川島 妃杏(中二)

三絃Ⅰ

堀池 春寧(中三)
稲村 駈(中二)
マディアンスキー
オレグ
菱沼 春翔(小二)

Dグループ

箏Ⅰ

橋本 陽色(中一)
中澤ほか(五歳)
竹山 文香
中澤香代子
藤村奈那衣
加藤 祥子
伊東 淑恵

箏Ⅱ

三成 美歌(高三)
平林 舞桜(中三)
平林 凜桜(中三)
川島 妃葵(中一)
榎並由理亜(小五)
中川 育人(小三)
蛭田菜七子(小三)
中川 実音(六歳)
十七絃
川島 妃杏(中二)

三絃Ⅰ

稲村 駈(中二)
堀田 紬生(小二)
須田ゆかり
堀田 麻子

助演

箏Ⅰ

上田 紀子
石山 彩奈
小野真由美
山内 有紀

三絃Ⅰ

高橋 富博
三絃Ⅱ
山根 麻紀
池田千絵子
日高 和美

十七絃

打物
藤枝加奈子
加藤 俊彦

ニ チューリップ

箏

小谷 莉子（六歳）

さいたさいた　ちゅうりっぷのはなが　ならんだならんだ　あかしろきいろ
どのはなみても　きれいだな

三 絵日傘

箏

天野 有彩（小二）

さくらひらひら　えひがきに　ちようちよもひらひら　きてとまる
うばのおきとは　はなのみち　すみれのはなも　たんぼぼも

四 ピョンピョコリン

箏

中川 実音（六歳）

ピョン　ピョン　ピョンピョコリン　ピョン　ピョン　ピョンピョコリン
母さん兔の出る来るまでは　子兔ばかりで一けいこ
ピョン　ピョン　ピョン　ピョン　ピョン　ピョン　ピョン　ピョン
ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン
ピョン　ピョン　ピョン　ピョン　ピョコリン　ピョン　ピョン　ピョコリン
踊るみんなの小さな影を　いっしょにはねてる長い耳
ピョン　ピョン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン　ピョコリン

五 うれしいひな祭り

箏

横路 環（小二）

あかりをつけましょ　ぼんぼりに　お花をあげましょ　桃の花
五人ばやしの笛太鼓　今日はたのしいひなまつり
お内裏様とおひな様　二人ならんですまし顔　お嫁にいらした姉様に　よく似た官女の白い顔

六

小狸小兎

箏本手

蛭田菜七子（小三）

箏替手

中川 育人（小三）

こんこん小山の小狸は おはら鼓も打たないで 早く寝た夜夢を見た 親の仇を取った夢
 こんこん小山の小兎は 踊り疲れて気持ちよく 早く寝た夜夢を見た 狸と仲良くなった夢

七

うれしいひな祭り

箏

久保山彩蘭（六歳）

あかりをつけましょ ぼんぼりに お花をあげましょ 桃の花 五人ばやしの 笛太鼓 今日のはたのしいひなまつり
 お内裏様とおひな様 二人ならんですまし顔 お嫁にいらした姉様に よく似た官女の 白い顔
 着物をきかえて 帶しめて 今日わたしははれ姿 春のやよいのこのよき日 なによりうれしいひな祭り

八

行進

箏

クルティシエフ アルトゥール 守栄（小四）

九

花園

箏高音

武田 一栞（小五）

箏低音

小野真由美

野辺に山辺に咲き出でし 色さまざまの花みなが 一夜の内に集ひ来て 咲くや香るやこの園に
 戯れ遊ぶ蝶のごと 身もかるがると 踊れ 踊れ
 夜の御空にちりばめし 色さまざまの星みなが 一夜の中に下り来て 咲くや香るやこの園に
 さえづる小鳥さながらに 聲はり上げて 唄へ 唄へ

十 鳥のように

箏

萩野 美咲(中二)

十一 レット・イット・ゴー(ありのままで)

第一箏

萩野 美咲(中二)

川島 妃葵(中一)

武田 一葉(小五)

第二箏

中川 育人(小三)

蛭田 菜七子(小三)

中澤 かえで(小三)

天野 有彩(小二)

横路 環(小一)

中川 実音(六歳)

久保山 彩蘭(六歳)

井本 美晴(六歳)

十七絃

川島 妃杏(中二)

笛

千々和典子

打物

加藤 俊彦

十二

日本舞踊／長唄
梅とさんさん／あやめ杜若

立方

柏原 美奈

中村 和花奈

松田 摩里子

柏原 零(小二)

中村 実采(小一)

池田 侑梨佳(小二)

松田 陽夏乃(小二)

西本 玲花(小二)

十三 大黒舞

大黒天

加藤 俊彦

笛

千々和典子

大拍子

桑原 悠汰

太鼓

田所 求美

十四

アメリカ・カリフォルニア州からライブ中継
サンタバーバラ教室

六段の調

箏

品川 恭子
谷本 弘子

三絃

山本 啓子
ロバート・渡邊八千代

十五

舞囃子

小袖曾我

シテ

小澤

靖

大鼓

関谷 秀一

地

田中 明美
中尾 敦子
阿部 美穂
崎野ゆき子
小澤はつみ

十六

地唄舞

高砂

立方

加賀加代子

十七

日本舞踊／長唄
もみじばの

立方

花柳紅文葉

十八 大井川

三絃

香坂 正彦
中井 一陽

箏

武田裕美子
小野真由美

大井川 花と月との朧夜に ひとりかすまぬ波の音かな

十九 桜草

平林 圭子	川合さくら	小野真由美	山内 有紀
吉川 尚子	宇都宮育子	金田和歌奈	篠原 昌人
青木八千代	森 双葉	藤枝加奈子	
松本 京子			

二十 けしの花

三絃

箏

小野真由美	池田千絵子	金田和歌奈	金澤 卓子
藤枝加奈子	幸月 花織	翠 三千香	坂本 和子
平林 圭子	足立衣沙桜	北島 亜季	石山 彩奈
吉川 尚子	川島 妃杏	松本 りか	
青木八千代	高橋 富博		
磯部 葉月	富永 愛侑		

手にとりて 見ればうるわしけしの花 しほりしほれば たゞならぬ
匂ひかうばし 花びらの 散りにしすがたあはれとも

二十一 黒髪

三絃

小野真由美

金田和歌奈

吉川 尚子

北島 亜季

日高 和美

箏

上田 紀子

中井 一陽

松本 京子

池田千絵子

龍川結里愛

胡弓

久保山 彩
藤枝加奈子

宇都宮育子
平林 圭子

森 双葉

大庭汀音妃古

黒髪のむすぼれたる思いをば とけてねた夜の枕こそひとり寝る夜のあだまくら
袖はかたしくつまじやと云ふて 愚痴な女子の心としらで しんと更けたる鐘の声
ゆふべの夢の今朝さめてゆかし懐かしやるせなや積ると知らで積る白雪

二十二 教師披露 吾妻獅子

三絃

上田 紀子

中井 一陽

北島 亜季

箏

小野真由美

尺八

善養寺恵介

昔より 言い慣はせし 東下りのまめ男 花の姿に吉原なまり
花やかに 乱れ乱るる妹背の道も 獅子の遊びて幾千代までも
変わらぬ色やめでたけれ

【第二部】

二十三 百々花火

第1筆

金田和歌奈
中井 一陽
磯部 葉月
幸月 花織
松本 りか
岩本 修平

第2筆

榮 あゆみ
角田 遥奈
川合さくら
久保山 彩
大庭汀音妃古
藤枝加奈子
平林 圭子
吉川 尚子
北島 亜季
青木八千代
川島 妃杏
川島 妃葵
足立衣沙桜
石山 彩奈

二十四 菊日和

三絃Ⅰ

金田和歌奈
平林 圭子
上田 紀子
中井 一陽
山根 麻紀

三絃Ⅱ

川島 妃葵
高松 玲子
高橋 富博
富永 愛侑
日高 和美
小野真由美
藤枝加奈子
吉川 尚子
松本 りか
池田千絵子
野口 智子
龍川結里愛
尺八
善養寺恵介

二十五 螺鈿

第1筆

平林 圭子
磯部 葉月
金澤 卓子
陶山 琳
石山 彩奈

第2筆

金田和歌奈
青木八千代
山根 麻紀
大塚 咲蘭
萩野 美咲
榮 あゆみ
足立衣沙桜

十七絃

藤枝加奈子
吉川 尚子

二十六 組歌

弄斎

三絃

岩月麻美子

住めば浮世にノ 恨みの増すに 関はさまさまノ 超えては見たが
浮世は人目の 関ばかり サユエ関ばかり

二十七 尾上の松

三絃本手

小野真由美

三絃替手

藤枝加奈子

尺八

善養寺恵介

金田和歌奈

吉川 尚子

平林 圭子

中井 一陽

上田 紀子

青木八千代

北島 亜季

松本 りか

山根 麻紀

ゆたかに住める日の本の恵みは四方に照り渡る 神の教への跡垂れて つきじつきせぬ
君が御代萬歳 祝ふ神がぐら みしみの前にハ乙女の 袖振る鈴や振りつつみ
太鼓の音も笛の音も 手拍子揃へていさぎよや
あら面白や面白や とささぬ御代に相生の松の 緑みどりも春緑れば 今ひとしほに色まさり
深く契りて千歳経る 松の齡をけふよりは 君にひかれて萬代を 春に栄えん君が代は
萬々歳と舞いひ唄ふ

二十八

日本舞踊
新娘道成寺

箏
磯部 葉月

三絃
小野真由美
立方
花柳たけひろ華

鐘に恨は数々ござる 初夜の鐘を撞く時は 諸行無常と響くなり 後夜の鐘を撞く時は
是生滅法と響くなり 晨鐘の響きには 生滅々已 入相は寂滅為楽と響けども
聞いて驚く人も無し 我は五障の雲はれて 真如の月を眺め明さん
恋のわけざと数へ数へりや 武士も道具を伏せ 編笠で張りど意気地の吉原
花の都は歌で和らぐ 敷島原よ 勤めする身は誰と伏見の墨染 煩惱菩提の撞木町より
難波四筋の通ひ木辻の禿たちから 室の早咲き それがほんに色じや 一い二う三い四
夜露雪の日しもの閑路と共に 此身を馴染重ねて 中は円山只九かれと思ひ初めたが縁じゃえ

二十九

殺陣 縁綴り修ノ陣
殺陣 演武

積田 裕和 石黒 笙陽 杉山 菜穂
鉄 次郎 西田 雄紀 小野 伯月
金子 麗 鳴海 貴絵 仲井和るな
今井 涼雅 (凜派)

三十

地唄舞
名護屋帯

立方
吉村 珠尾

三絃
小野真由美

逢うて立つ名が立つ名の内か 逢はで焦れて立つ名こそ まこと立つ名の内なれや
思ふうちにも隔ての襖 有るにかひなき捨小舟 思や世界の男の心 私はしら浪うつつなき
夜の寢覚のその睦言を 思ひ出すほどいとしさのぞつと身も世もあられうものか
締めて名護屋の二重の帯が 三重廻る 深山うぐひす 鳴く音に細る
我は君ゆえ焦れて細る ああ浮世 昔思ふの恋ごろも

三十一 獅子舞

獅子

加藤 真一

千々と創太

千々と愛花音

笛

千々と典子

四ッ

桑原 悠汰

四助

田所 求美

三十二 春陽楽 第四楽章 さくら

第一筆

平林 圭子

上田 紀子

磯部 葉月

大塚 咲蘭

幸月 花織

第二筆

翠 三千香

北島 亜季

青木 八千代

山根 麻紀

榮 あゆみ

足立衣沙桜

三絃甲

小野真由美

中井 一陽

高橋 富博

富永 愛侑

三絃乙

山内 有紀

松本 りか

池田千絵子

胡弓

岡村慎太郎

金田和歌奈

十七絃

藤枝加奈子

吉川 尚子

仲井和るな

尺八

善養寺恵介

片岡 雨山

松井 邦櫻

打物

加藤 俊彦

田所 求美

さくらさくら さくらが咲いた 八重に一重に色香も匂ふ
花の名どころ吉野に初瀬 江戸の昔をしのぶが丘に
さいたさいた さくらの花が おぼろ月影梢にのぞく
ゆめもいざよふ祇園のかがり つれてきつれておどりのたもと
舞ふは蝶々か唄ふは鳥か うかれうかれて花さきづきを
うたもきほひのゑごゑきいて 昇る旭日にわらうて散つて
はらりはらり川面にうかぶ 心すみだのすがたをここに
雲か霞か つつみの下を かねのねにゆく大川いかな

本日はご来場誠に有難うございました。
下記QRコードよりアンケートにご協力いただきたく
どうぞ宜しくお願い申し上げます。



《出 演》

里神樂加藤俊彦社中

真花の会

花柳流たけひろ会

吉村珠尾社中

縁綴り修ノ陣

地唄箏曲美緒野会

《賛助出演》

小野真由美

岡村慎太郎

善養寺恵介

片岡 雨山

加藤 俊彦

花柳たけひろ華

吉村 珠尾

積田 裕和

《ワークシヨップ》

盆石 篠原 昌人

箏 地唄箏曲美緒野会

《アナウンス》

石黒 笙陽

平澤 織絵

《協力》

進行

舞台

調絃

映像

題字

渡辺 清弘

株式会社六工房

井関 一博

水澤 泰助

寺本 督

岩本 修平

阿部 鳳竹

《樂歌踊謡実行委員会》

上田 紀子

翠 三千香

藤枝加奈子

吉川 尚子

本多 真美

高田 幸子

三上 直美

足立衣沙桜

藤村奈那衣

北島 亜季

中井 一陽

外川麻貴子

仲井和るな

青木八千代

松本 りか

磯部 葉月

平林 圭子

金田和歌奈

篠原 昌人